



# 川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

【2023-24 年度 地区方針】先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう！

会 長 長戸 隆彦  
副 会 長 小島 徹  
幹 事 大友 徹  
S A A 齊藤かおり  
会報委員長 貝田 充

2023～2024

第 2398 回例会

2023 年 11 月 28 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘  
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10  
ホテル精養軒  
TEL(044)711-8855  
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428  
山協ビル 402 号 TEL(044)722-  
4331 FAX(044)722-6334  
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp  
URL: <https://www.kawanaka-rc.com>

## 例会報告

## ニコニココーナー

佐川 陽子 SAA 補

開会点鐘	長戸 隆彦会長
司 会	齊藤 かおり SAA
合 唱	ロータリーソング

「それでこそロータリー」

お客様紹介 鹿島 義久親睦活動委員  
西田 洋一様 写真講師  
クルーズ由美子様 川崎北ロータリークラブ  
小泉会員お客様 11 名様

## 今後のプログラム予定

12 月	プログラム
12 月 12 日	年忘れ家族会
12 月 19 日	納会 会員卓話

クルーズ由美子様:いつもお世話になっております。御クラブの年忘れ家族会にて所属しているベリーダンスチームがベリーダンスを踊ります。何卒よろしくお願い致します。

長戸 隆彦会長:本日は西田様よろしくお願い致します。

大友 徹幹事:西田洋一様、本日は卓話よろしくお願い致します。

小島 徹副会長:本日はお忙しい中、西田洋一様卓話よろしく申し上げます。

小泉 繫勝会員:本日の卓話は、知人の西田さんの北海道の動物写真をご覧頂きます。よろしくご鑑賞下さい。

細山 勝三郎会員:西田洋一様本日の卓話ありがとうございます。

川口 禮敬会員:今日もお世話になります。

金子 利昭会員:本日の卓話西田洋一様よろしくお願い致します。

## 出席報告

佐川 陽子出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
40 名	31 名	9 名 対象外 (5)	88.57%	欠 6 名 対象外 MU0 名 (3)

【本日の欠席者】 三木 治一会員 長谷川 俊雄会員  
一尾 亮輔会員 島 利夫 会員 白井 正男 会員  
朝倉 和信会員 朝山 秀男会員 稲富 正行会員

合計	8 件	8,000 円
累計	184 件	218,000 円

## 会長報告

長戸 隆彦会長

1. 地区より、ロータリー財団補助金管理セミナー開催のご案内が届いております。日 時:12 月 12 日(火) 15:00~17:30  
場 所:メモワールソシア 21 4F ウイング
2. 地区(ガバナー 樋口明様)より先日の地区大会のお礼状が届いております。

3. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやま 284 が届いております。

## 幹事報告 大友 徹幹事

1. 例会変更  
横浜あざみ 11月29日(水)移動例会 点鐘 12:30  
横浜市立あざみ野中学校「職業を語る会」  
川崎麻生 12月22日(金)移動例会(夜会) ホテルモリノ 点鐘 18:00『クリスマス家族会』  
川崎とどろき 12月11日(月)年忘れ家族会  
点鐘 18:00 ホテル精養軒  
12月25日(月)休会
2. メールアドレス変更のお知らせ  
川崎高津 変更後メールアドレス [takatsu.rotary@gmail.com](mailto:takatsu.rotary@gmail.com) (11/1~)
3. 次週 12/5 は例会終了後、理事役員会を開催致します。関係各位のご出席をお願い致します。
4. <12月の予定>  
12/5 通常例会(年次総会) 例会終了後、理事役員会  
12/12 年忘れ家族会 点鐘 17:30 精養軒  
12/19 通常例会(納会)  
12/26 休会

## 本日のお客様



川崎北ロータリークラブ クルーズ由美子様

「川崎中ロータリークラブ様の年忘れ家族会にてベリーダンスを披露いたします。皆様どうぞお楽しみください！」



小泉会員ご友人の皆様

## 卓話

『東北北海道の自然環境保護と野生動物達との共存について』



写真講師 西田洋一様

【西田様ご略歴】

1964年日本光学工業株式会社(後の株式会社ニコン)に入社。貿易業務、海外販売に長く関わり、1999年取締役環境事業部長就任以降2006年まで会社経営に携わり、その後2007年~2011年3月まで学校法人東京工芸大学専務理事を務める。その後は趣味の写真撮影とボランティア活動に専念し現在に至る

経緯: 2014年7月初めて訪れた東北北海道・浜中町の霧多布湿原。その周辺に自由に飛び回る絶滅危惧種のタンチョウ、オジロワシ、オオワシ、を見て感激し、現地の若者たちを中心に孫子の代まで美しい自然を残そうと活動する”NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト”に感銘を受け以後同NPO法人の運営会員として協力している。



18世紀半ばから19世紀にかけて起こった石炭利用のエネルギー革命による第一次産業革命に端を発し、人類は文明の利器を開発して便利で過ごしやすい生活を享受してきました。しかしその反面、地球環境が汚染の一途を辿り、地球温暖化、異常気象をもたらすとともに、年々の海面上昇は止まるところを知らず、太平洋の小さな島国やイタリア・ベニスの海面上昇による被害は深刻なレベルに至っています。2015年の国連サミットで2030年を目標に持続可能な開発のためのアジェンダ(S D G 's)として国際目標の17項目のゴールを設定し全世界の目標として環境改善に向けて行動しています。



2010年以降、私は東北北海道(道東地域)の皆さんとの交流により知り得た現地の人々の生活、そして恵まれた自然環境の中で漁業、酪農業を通して生計を立てつつ、環境破壊を防ぐための環境保護活動を、国連の活動開始前から自然に身に付いた行動として実施されている事を知りました。

この現地の人たちの“子供や孫の代まで美しい自然環境を維持しよう”と汗を流している姿を見て感動し、それらを写真を通して訴えようと思い立ち、N P O 法人霧多布湿原ナショナルトラストへの協力を始めました。その過程で野生動物達との共生は自然環境の維持に通じる日頃の生活様式につながる事を理解しました。そのほかにも道東地域では以前から絶滅寸前のタンチョウを発見し大切に保護した結果、今では3000羽以上に増殖させています。また環境省の厳密な管理下で大切に保護されているシマフクロウの様子もお伝えさせていただきました。

のびのびと美しい原生花園に生息する絶滅危惧種達の生き様を写真に撮り続けておりますが、お見せる写真を通して東北道の魅力の一端をご理解いただければ幸いです。



西田洋一様、本日は自然環境保護に関わる大変貴重な卓話をいただきありがとうございました。

厳しい自然環境の中で、たくましく生きる野生動物たちの姿と、その動物たちや自然との共存共生を目指して尽力されている方々がいらっしゃることを知ることができ、とても勉強になりました。

また是非お出でいただき、お話しの続きを聞かせてください。